

日本三大だるま市の一つとされる富士市の毘沙門天（びしゃもんてん）大祭が31日、同市今井の毘沙門天妙法寺で始まった。境内と周辺道路に、全国から約60のだるま店と約500の露店が並び、2月2日まで。

旧暦の1月7～9日に合わせ、江戸時代から毎年開催。出店数や来場者数は全国のだるま市で最大規模だが、近年は頭打ちにあり、



同市の「鈴川だるま」（富士支局・中川琳）

最寄りの駅がある岳南電車がだるまの顔をラッピングした「だるま電車」を運行するなど盛り上げに努めている。同寺によると、ことしは暦の関係で週末の開催となり3日間で昨年を上回る約25万人の出入を見込む。

をはじめ、全国各地の特徴的なだるまが店頭に並んだ。干支（えと）のねずみの絵柄や、黄やオレンジなど色とりどりのだるまも人気。参拝客は商売繁盛や家内安全、無病息災を願い、気に入っただるまを買い求めた。

全国のだるま集結

富士・毘沙門天大祭始まる

①だるまを買う目的は何ですか。

2020年1月31日夕刊

②全国各地の特徴的なだるまを2つ書きましょう。

③あなたがだるまを作るとしたらどんな顔にしたいですか。写真を参考にして描いてみましょう。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村 都（静岡市立井宮小学校 教諭）

（小学校中学年以上・保護者／総合）

※一人一人のワークシートではなく、拡大コピーしたものを使って皆でやるのならば低学年でも取り組みます。その時は、担任の先生が記事を読み、内容説明をしてあげてください。